

浚渫兼油回収船「海翔丸」島根県沖へ緊急出動 ～ 浮流油の海岸漂着を阻止 ～

■ 「海翔丸」の機能

「海翔丸」は航行しながら「油回収」または「浚渫」を行う日本最大級の浚渫兼油回収船です。通常は関門航路の浚渫工事に従事しています。

・ 油回収機能

「低粘度の油」から「高粘度の油」まで回収できるように、2種類の油回収装置を装備しています。



舷側設置式油回収器
(主に低粘度の油で使用)
(今回の回収作業で使用)

投げ込み式油回収器
(主に高粘度の油で使用)

・ 浚渫機能

船体後部に取り付けられたドラグラダーを海底まで降ろし、先端部のドラグヘッドと呼ばれる吸い込み口から海底の土砂を吸い上げ、船内の泥倉に積み込み浚渫を行います。



■ 「海翔丸」の諸元

- ・ 全 長 : 103m
- ・ 幅 : 17.4m
- ・ 総トン数 : 4,651t
- ・ 回航速力 : 13.3kt

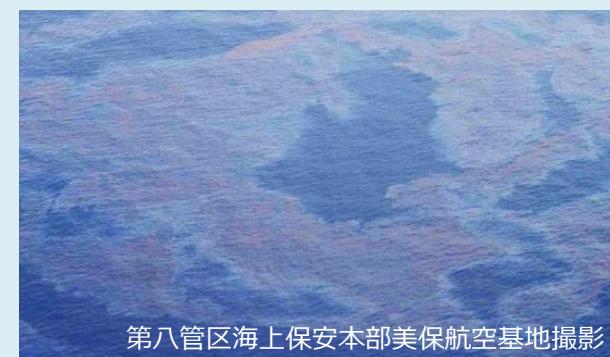
島根県沖で浮流油回収作業に従事する「海翔丸」



第八管区海上保安本部美保航空基地撮影



白く光る浮流油



褐色の浮流油

第八管区海上保安本部美保航空基地撮影

■ 「海翔丸」の緊急出動

九州地方整備局は、平成27年1月3日、山口県萩市沖付近にて確認された浮流油に対し、浚渫兼油回収船「海翔丸」を緊急出動し、回収作業を行いました。

「海翔丸」は島根県の浜田港沖で ドラム缶約250本分に相当する多量の浮流油を回収し、海水浴場や海岸への漂着の大部分を阻止しました。

浚渫兼油回収船「海翔丸」島根県沖へ緊急出動 ～浮流油の海岸漂着を阻止～

■浮流油の海岸漂着を阻止

- ・1月5日 第八管区海上保安本部から出動要請
 - ・1月6日0時15分に北九州港（基地港）を緊急出動
 - ・同日9時50分に島根県浜田港北方海域に到着
 - ・到着後、直ちに浮流油の回収作業を開始
- 島根県浜田市の海水浴場や海岸に近づいた浮流油
約50,000リットル（ドラム缶250本分に相当）を回収



「海翔丸」の浮流油回収場所（概略位置）



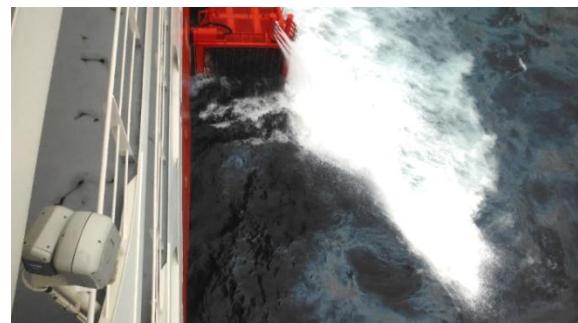
漂着を阻止すべく海岸間近で回収作業をする「海翔丸」



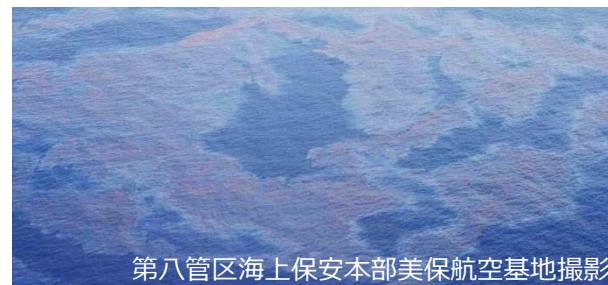
带状に広がる浮流油を回収する「海翔丸」



回収した油を確認する
 「海翔丸」乗組員



ウォータージェットで壁を作り浮流油を集めながら回収



褐色の浮流油

■油流出事故に備える体制

国土交通省は、「海翔丸」のような大型の浚渫兼油回収船を国内に3隻配備し、油流出事故に対応できる体制を整えています。

